

8 読み聞かせ活動団体等における読書活動の推進

(1) 読み聞かせ活動団体等の役割

図書館、幼稚園・保育園（所）、学校、地域において、読み聞かせ活動団体等が、読み聞かせや朗読などを行うことにより、子どもが読書に親しむための多様な機会を提供することができます。読み聞かせ団体等は、読み聞かせや朗読等を通し、子どもと本をつなぎ、子どもの自主的な読書活動を促しています。また、子どもと図書館を結ぶ架け橋ともなっています。

読み聞かせ団体等が読み聞かせや朗読を行うことにより、子ども達は、家庭、幼稚園・保育園（所）、学校以外の地域の人達との心の触れ合いや世代間交流の場を持つこともできます。

図書館で行うおはなし会などは、子どもだけでなく、一緒に来た保護者も楽しむことができます。おはなし会が終わった後、大人に対して、読み聞かせを負担とせず子どもと一緒に本を楽しむことや子どもの読書に必要な情報などを提供し、読書活動に関する理解や関心を広めることも大切です。

読み聞かせ活動団体等は、常に研修や学習を行い、活動に必要な知識や技術を高めるよう努めることが大切です。また、他団体等の情報交換などによって交流を深め、研鑽に努めることが望まれます。また、研鑽した知識や技術を読み聞かせを始める一般ボランティアや小・中学生・高校生へ伝授していくことも大切です。

(2) 現状と課題

当町には、現在、子どもの読書にかかわる活動をしている団体が3団体あります。朗読の会「秋桜」、おはなしサークル「虹色の会」、「絵本を楽しむ会」です。この朗読の会「秋桜」とおはなしサークル「虹色の会」2つの団体は、平成7年、平成8年に発足し、「本の読み聞かせを通し、本の楽しさや感動を子ども達に伝え、子どもと本を結び、読書のきっかけを作り、子どもの読書活動普及に多大に貢献した。」ことにより、平成20年2月に野辺地町文化賞を受賞しました。活動場所は、図書館を始め、学校、幼稚園・保育園（所）、地域などで活動を行っています。「絵本を楽しむ会」は、図書館の絵本コーナーで乳幼児を持つ保護者を対象に会員の感想とその子どもの反応を掲載した絵本ガイドで絵本の紹介をし、絵本との出会いの機会を提供しています。この他にも図書館のおはなし会や昔ばなし会など長年に亘り、活動している個人の読み聞かせボランティアもいます。

最近では、小学校の「朝の読書」や保育園などからの依頼も増えており、平成17年度の読み聞かせボランティアの活動回数は160回で、延べ人数は406人です。しかし、新規のボランティア数があまり増えない、働いているサークル会員が多いなどで、依頼に充分対応するための活動が困難になってきています。学校やPTAなどとの連携によるボランティアの育成が求められています。

(3) 具体的な取組と取組内容

町では、読み聞かせ活動団体等が図書館や幼稚園・保育園（所）、学校、地域と連携・協働でおはなし会や読み聞かせ等を積極的にスムーズに行えるよう支援していきます。

具体的な取組

- ① 読み聞かせ等や朗読の実施
 - ・ 幼児・小学生向きおはなし会 ・ 乳幼児とその保護者対象のおはなし会
 - ・ 夏休み朝のさわやかおはなし会 ・ 出前おはなし会
 - ・ 「朝の読書」における読み聞かせ、朗読
- ② 読み聞かせ講座・講習会・研修会への参加
- ③ 一般・小中学生・高校生ボランティア育成の指導協力
- ④ 読み聞かせボランティアの育成とスキルアップ講座の実施
- ⑤ 読み聞かせ活動の情報・材料・交通手段等の提供
- ⑥ 学校等と読み聞かせ団体のコーディネート



取組内容

施策・事業名	ねらいと内容	所管	状況
各種おはなし会での読み聞かせ等の実施	図書館で毎月開催されるおはなし会、昔話会、ドキドキおはなし会、星降る夜のドキドキおはなし会、ドキドキクリスマス会などで、読み聞かせやストーリーテリング、人形劇などを行い、子ども達におはなしや本の楽しさを伝えます。	図書館 おはなしサークル ボランティア	継続
乳幼児とその保護者対象の読み聞かせ等	子どもの読書活動を推進するためには、家庭での取り組みが大切です。健康増進センターで毎月開催されるブックハローや乳幼児向けおはなし会で、親子に対する読み聞かせや読み聞かせの大切さなどを伝え、親子触れ合い読書を促します。	図書館 環境保健課 育児サークル	拡充
夏休み朝のさわやかおはなし会	子ども会などの要請に応じて、ラジオ体操終了後に開催します。紙芝居や絵本の読み聞かせを通して、子ども達におはなしの楽しさや感動を伝えます。	図書館 ボランティア 子ども会	継続
出前おはなし会	学校・幼稚園・育児サークルなどの依頼に応じて本の朗読や語り、パネルシアター・エプロンシアター、影絵、人形劇などを行い、おはなしに親しむ多様な機会を提供し、子ども達の読書意欲を促進します。	図書館 読み聞かせ団体	継続
「朝の読書」における読み聞かせ・朗読会	「朝の読書」の時間に、読み聞かせや朗読を通し、おはなしや本に親しむ機会を提供し、子ども達の豊かな情操と想像力を育成するとともに、子ども達の自主的な読書を促します。	読み聞かせ団体 図書館	継続
読み聞かせ講座・講習会・研修会への参加	県や図書館、読書団体が開催する研修会等へ積極的に参加し、知識や技術の取得やスキルアップを図ります。また、他市町村等で活動している読み聞かせ団体等との情報交換を行い、研鑽に努めます。	図書館 読み聞かせ団体等	継続

ボランティア育成の指導協力	長年読み聞かせ活動等を行ってきた朗読の会「秋桜」やおはなしサークル「虹色の会」にあつては、自分達が習得した知識や技術を後進のボランティアや小・中・高校生に伝授しボランティアを育成するための協力をします。	図書館 読み聞かせ団体	継続
読み聞かせボランティアの育成とスキルアップ講座の実施	ボランティアの育成にあつては、絵本の読み聞かせの重要性や、絵本の選択、読み方などの知識や技術の習得を図るため、さらに、現在活動をしている読み聞かせボランティアに対しては技術の向上を図るために、講座や講習会を開催します。また、県などで開催している研修会等の情報を提供し、積極的に参加するなど働きかけに努めます。	図書館	継続
読み聞かせ活動の場・情報・材料・交通手段等の提供	読み聞かせ団体が、活動できる場の提供と県や読書団体等で発行する広報誌や情報の提供、活動に必要な材料等、交通手段等を提供し、読書団体がよりよい活動ができるよう支援します。	図書館	継続
学校等と読み聞かせ団体との調整	また、図書館が学校・幼稚園・保育園（所）等とのコーディネートと連絡を行い、活動がスムーズに行えるように支援します。	図書館	継続



おはなし会で「のへじの伝説」の紙芝居



ふれあい通学合宿

